

議員提案第 48 号

政府備蓄米の早期買戻し及び米価・需給安定に関する意見書の提出について

このことについて、次のとおり意見書を提出するものとする。

令和 8 年 9 月 4 日提出

新潟市議会議員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

佐 藤 正 人

志 賀 泰 雄

荒 井 宏 幸

伊 藤 健 太 郎

林 龍 太 郎

東 村 里 恵 子

倉 茂 政 樹

武 田 勝 利

小 柳 聡

宇 野 耕 哉

幸 田 健 太

石 附 幸 子

政府備蓄米の早期買戻し及び米価・需給安定に関する意見書

食料安全保障の強化並びに我が国農業の持続的な発展に向け、格別なる御尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、現在の主食用米をめぐる情勢は、前年に実施された計59万トンに及ぶ政府備蓄米の大量放出や、それに伴う民間在庫の急増（本年6月末時点で過去最大の243万トン）等を発端とし、需給の緩和懸念が急激に高まっております。

この結果、JA全農にいがたでは、令和8年産新米の概算金（仮渡し金）が前年比で約4割という大幅な下落に転じるなど、産地は未曾有の米価暴落の危機に直面しております。

中東情勢の緊迫化等に伴う生産資材や燃油の価格高騰により、農家の生産コストは過去最高水準に達しており、この米価水準では、多くの稲作農家が経営継続不能に陥り、地域の水田農業や食料供給体制そのものが崩壊しかねません。

現在、政府備蓄米の在庫量は約32万トンまで落ち込んでおり、政府自らが適正水準とする約100万トンを大幅に下回るなど、災害や不作といった緊急事態への対応力も著しく低下しています。9月1日、農林水産省は備蓄米21万トンの買戻しの方針を公表しましたが、さらに適正水準に積み戻すための確実かつ計画的な実施が必要です。

こうした課題を踏まえ、生産者が将来にわたり安心して持続的な米作りに取り組める環境を確保するため、本市議会は、政府並びに国会に対し、下記の事項について一刻も早く実行されますよう、強く要望いたします。

記

1 政府備蓄米の買戻しの早期かつ計画的な実施

放出した政府備蓄米の買戻しについては、適正水準（約100万トン）へ積み戻すための具体的な計画を速やかに提示し、確実に実施すること。新米の本格的な流通期を前に、市場に対して強力な需給引締めメッセージを送り、米価の暴落を断固として阻止すること。

1 実態を踏まえた水田農業政策の見直し

主食用米の需給や現場の生産実態（飼料用米や加工用米の過不足状況等）に即し、柔軟かつ持続可能な水田活用直接支払交付金等の制度運用や見直しを行うこと。新潟市のような低平な農地における排水負担（土地改良賦課金）を、中山間農地と同様に条件不利地と位置づけ、支援すること。

1 生産コストを反映した適正な価格形成への支援

肥料・農薬・燃料・電気代等の高騰分を考慮し、米価が生産コストを下回ることがないように、再生産可能な適正価格の形成を後押しする市場対策や、影響を受ける農家への経営安定支援策を機動的に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年9月4日

新潟市議会議長
小野 清 一 郎

衆議院議長	}	宛て
参議院議長		
内閣総理大臣		
農林水産大臣		